

第 5 回 常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川
流域治水プロジェクト協議会
議 事 概 要

開催日時：令和6年3月12日（火）10：00～11：30

場所：富山河川国道事務所 3階 大会議室 及び テレビ会議

議事：1. 開会挨拶

2. 規約の改正について【資料1】

3. 流域治水プロジェクトについて【資料2】

- ・流域治水プロジェクトの更新
- ・流域治水プロジェクトに基づく対策の実施状況
- ・流域治水プロジェクト 2.0 について
- ・流域治水プロジェクトの進捗・深化に向けて
- ・多様な主体と協働・連携して実施する取組

4. 流域治水の自分事化に向けた取組について【資料3】

5. その他（情報提供）【参考資料】

6. 閉会

議事概要：

＜規約の改正について＞

- 規約改正について了承された。

＜流域治水プロジェクトについて＞

- 【流域治水プロジェクトの更新】について了承された。
- 【流域治水プロジェクトに基づく対策の実施状況】について、情報共有が図られた。
- 【流域治水プロジェクトに基づく対策の実施状況】に対するご意見

[構成員 A]

高岡市の「雨水貯留タンク設置補助」の取組について。

今年度は線状降水帯による豪雨被害等もあったが、申請件数は多くなっているのか。

[高岡市]

今年度の豪雨災害後にタンク設置補助の申請件数が増えたということは無い。

- 【流域治水プロジェクト 2.0】について了承された。
- 【流域治水プロジェクト 2.0】に対するご意見

[構成員 B]

常願寺川水系及び神通川水系の「氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策」に追記された「事業間連携を通じた海岸侵食対策」・「海岸保全施設の整備」は何を指すのか。また、これらの対策が庄川水系及び小矢部川水系に記載されていないのはなぜか。

[事務局]

河道掘削で発生した土砂を海岸侵食対策事業で行う養浜に活用することを意図したもの

である。現在、富山県による海岸侵食対策事業が常願寺川と神通川の間で行われていることから、最寄りの常願寺川と神通川水系で記載したが、庄川や小矢部川でも河道掘削の計画があるため、必要に応じて今後も追記していきたい。

[構成員 B]

流域治水プロジェクト一覧表や取組事例等においては、海岸関連事業についても取組が進めば追記されていくものと思うが、海岸も含めたより一層の流域治水の取組を推進していきたいよう、事務局でチェックをしていただきたい。

[オブザーバーA]

神通川水系の「氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策」に追記された「気候変動対応のための洪水調節機能の増強」は具体的に何を指すのか。

[事務局]

まだ具体的には決まっていない。今後の河川整備計画変更の過程で、具体的な対策内容を検討していきたいと考えている。

[オブザーバーA（北陸電力）]

洪水調節機能にはダムにおける対策も選択肢の中に含まれているか。

[事務局]

選択肢の中にはダムも含まれている。

- 【流域治水プロジェクトの進捗・深化に向けて】について、情報共有が図られた。
- 【多様な主体と協働・連携して実施する取組】について、情報共有が図られた。

<流域治水の自分事化に向けた取組について>

- 【流域治水の自分事化に向けた取組】について、了承された。

<その他（情報提供）について>

- 【その他（情報提供）】について、情報共有が図られた。

— 以上 —